



校門の坂

山田小学校 学校便り 令和6年度第8号 2月 6日発 文責 校長

【山田小学校HP <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1363/>】是非御覧ください！

夢をかなえるために必要なこと！

先週、山田中学校の立志式に出席させていただきました。中学2年生が、自分の夢や目標を堂々とした態度で発表していて、とても感激しました。その式の後に、もと三股中学校陸上部監督の米田透（よねだ・とおる）氏の記念講演が行われ、大変興味深い話をされました。

夢をかなえるためには、「目標の設定」「行動」「継続」が必要で、最後の「継続」が最も難しい。」という話でした。

あの有名なイチローさんが、高校3年間で最もつらかったことは、「寝る前の10分間の素振り」を継続することだったという例をあげられていました。その難しい「継続」の方法として3つを紹介されました。

継続する気持ちを保つためには！

では、どんなことをすれば、人は物事を継続できるのでしょうか。紹介された3つのことは、ごく当たり前のことでした。「罰」「ご褒美」「主体性」です。「宿題せんかったら、おやつ無しね！」これは罰ですね。「テストで100点とったら、ゲームソフトを買ってやるね。」これは、ご褒美です。多くの保護者の方が使ったことのある方法ではないでしょうか？これは、決してタブーな方法ではないんです。社会では、ごく当たり前に使われています。交通違反の罰金やポイント制は、まさにそうですね。やはり、人は賞罰でがんばろうとするんです。

しかし、自分の夢や人生を賞罰でコントロールするってどうでしょう？賞罰がなくても頑張る子供達に育てたいですよね。だから「主体性」を育てるんです。ただ、「褒める」というご褒美だけは、特別です。「褒める」には主体性を育てる力があるからです。

読書は、立派な学習です！

ここからは、校長おすすめの家庭学習を紹介したいと思います。今回おすすめするのは、「読書」です。読書は、人類が獲得した文化です。読書は、楽しく、知識が付き、ものを考えることができます。また、あらゆる分野があり、手軽で、しかもそれほど費用はかかるないという特色もあります。読書習慣を身に付けることは、国語力を向上させるばかりでなく、一生の財産として生きる力ともなり、楽しみの基ともなるものなのです。

現代の読書離れは、とても深刻です。

文化庁の調査によると、本を読まない大人の割合は、なんと60%にもなるそうです。スマートフォンの普及も原因の1つと言われていますが、大変残念な数字です。読書は、一生の財産です。我が子が学び続ける大人になって欲しいと望むなら、今から家庭で読書をさせましょう。

ぜひ、いろんなジャンルを読ませてください！

ここでいう読書とは、文学作品を読むことに限りません。自然科学や社会科学関係の本。新聞や雑誌を読んだり、何かを調べるために関係する本を読んだりすることなども含めたものです。とにかく「読む習慣」をつけることが大切です。習慣がつけば、あとは自分から読み始めます。無理強いではなく、子どもたちが、自分から読みたくなるような環境を整えてあげることが大切です。本校は、6年生の家庭学習の時間は70分と設定しています。毎日70分間読書をする子は、素晴らしい時間を過ごしているのです。保護者のみなさんも子どもたちと一緒に本を読む時間を持ってみませんか？

